

事業所名

らいおんハート児童発達支援センターそよかぜキッズ
(児童発達支援センター)

支援プログラム（参考様式）

作成日

7年 3月 10日

法人（事業所）理念	障がいの壁を乗り越えた社会づくりのために、できることから少しずつ。障がい者を持っている方もそうでない方も、ひとつの社会となることが当たり前の中へ。一人ひとりのかけがえない平等で大切な命のための支援事業です。				
支援方針	集団療育と個別療育のどちらも取り入れてお子様が成長していく上で社会に順応できるように支援します。家族以外の他者とのふれあいを大事にし特性の理解を行いながらお子様が自分の意志で意思決定出来たり、個々の要求要望を自ら発信できる様力を育みます。多職種が連携し、それぞれの特性に合わせたプログラム作成を行っており色んな目線の支援を致します。				
営業時間	9時	0分	17時	0分	送迎実施の有無 あり
支 援 内 容					
本人 支援	健康・生活	生活リズムをご家庭と一緒に把握していきまずは生活のリズムを把握し整えます。また、個々の体調の変化にも迅速に気付きより健康に過ごすため健康観察も実施します。基本的な生活スキルの獲得が可能となるよう、1日のスケジュールを提示して、活動・遊び・食事・排泄等の生活リズムを身に着けます。自分で出来る出来たを大切にしながら自分で出来るところは挑戦する気持ちで大事にします。身の回りを清潔に保てるように手の洗い方を習得を習慣化し感染症対策及び清潔の保持練習を実施します。			
	運動・感覚	外遊び・ダンス・屋外歩行・体操を通して運動機能の向上に努めます。（月二回の全体でのオンラインダンスレッスン実施。他の児童との協力しての自由遊び）日常の活動の中で体幹の強化・良肢位の保持を専門職に助言してもらい習得します。季節を感じられる作品を作るなどの工作活動も行います。（指先や手で感覚を感じて興味を持ってもらえるように支援します）			
	認知・行動	作業療育によるマッチング、ひも通し、型はめ等により数量、大きさ、色、空間の概念形成を習得します。物の置き場所を視覚的に分かりやすくして片付けがしやすい環境を作ります。また、スケジュールを視覚的に分かりやすくして指示や切り替えの時にタイムタイマーを使用してスムーズに出来る環境を作ります。			
	言語 コミュニケーション	1人1人の能力や状況に応じて読み書きの練習を行なっていき知識をつけていきます。自分なりの要求やSOSの発信の方法を身に付けられるよう様々なツール（絵カード、具体物、文字、PECS等）を用いて訓練を行います。SST訓練を通じ表情や態度、言葉などから他人の気持ちを察する力を身に付けていきます。			
	人間関係社会性	場所場所にルールがあり、それに基づいて社会が形成されていることを理解していけるように訓練していきます。集団の中において、成長に伴う自身の役割の変化を意識し実践します。様々な性格や個性、特性のある人たちの中で、適切な立ち居振る舞いを考え実践します。地域との交流も随時開催し、他者とのふれあいを大事にしていきます。			
家族支援	家庭内での困りごとに対するサポート（連絡ツールや音声通話、WEBミーティング、訪問、来所等） ・年2回以上のモニタリング実施と共に参観日を設けます。	移行支援		・必要に応じて進学進級時や卒業後の進路等についてご本人、ご家族への助言を行なう ・保護者の了解を得た後、学校や卒業後の進路先との情報共有を行なう	
地域支援・地域連携	・見学希望者の随時受け入れ ・地域支援（公園等）を介した地域児童及び保護者との交流		職員の質の向上		定期的な職員研修（年12回）・新人職員向け研修 ・e-ラーニングシステム利用での業務マニュアル一元化や学習各種委員会の設置
主な行事等	季節ごとの季節感を感じることができる行事（秋祭り、クリスマス会、節分等）お誕生日会 月2回全体オンラインダンス療育 防災訓練（年2回）				